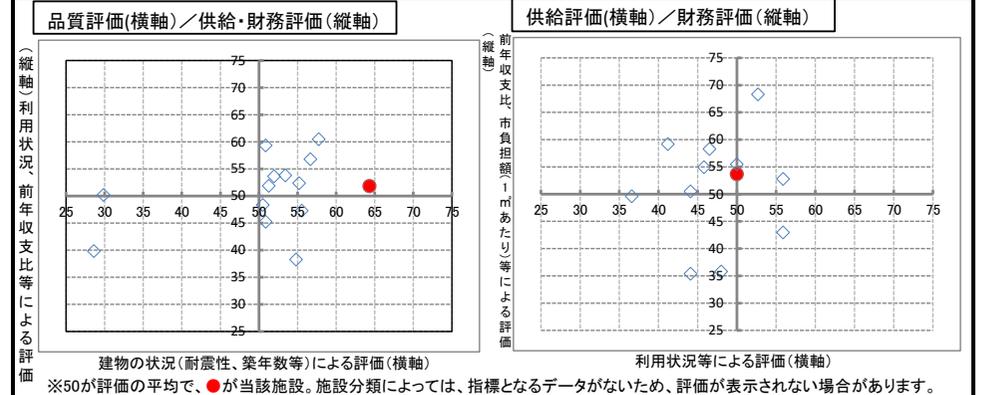


基本情報	リストNo	02-002	施設コード	00596	所管課	本庁	学校教育部教育施設課	
	施設名	水巻寮教職員住宅			施設	天竜区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。						
		主な業務内容	教職員の住居					
		主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		民間賃貸住宅がないため一定の利用者が確保されている					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		他に利用できる住宅が少ないため一定の利用者は確保されると予想される					
	特記事項		1棟16室共同住宅(現在15室利用)					
主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2023	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
	事業②	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
	事業③	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
	事業④	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
2021			—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生活導入	—							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	-32	808	1,391	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	75.0	45.5	41.7	1戸当たりのコスト(円)	-1,333	40,000	68,900



利用者の圏域毎の方向性
 利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性
 教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。

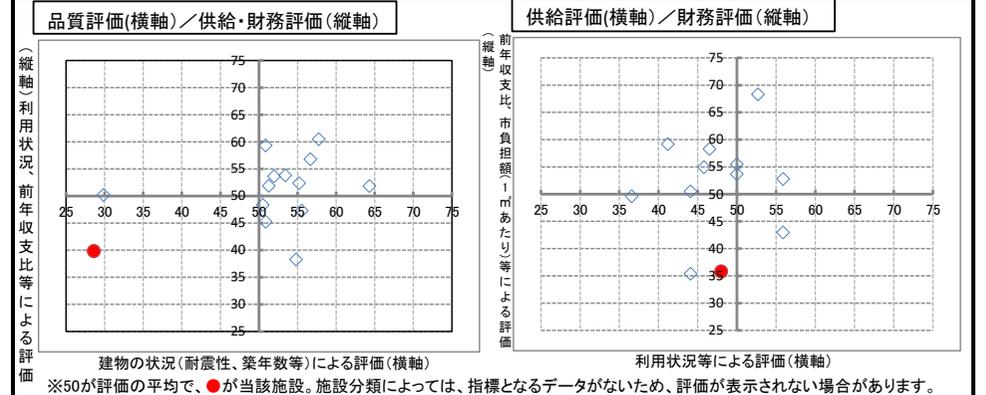
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他
当面適切な維持管理に努める。						

基本情報	リストNo	02-004	施設コード	01468	所管課	本庁	学校教育部教育施設課
	施設名	神原下教職員住宅			施設	天竜区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。					
		主な業務内容	教職員の住居				
		主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		民間賃貸住宅がないため一定の利用者が確保されている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		他に利用できる住宅が少ないため一定の利用者は確保されると予想される				
	特記事項		4棟住宅(現在全て利用)				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築30年近く経過しているため、施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加が予想される。					
	対応策	令和2年度に浜松市教職員住宅配置適正化計画を策定。当施設は存続の方針とする。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	65	861	518	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	75.0	100.0	100.0	1戸当たりのコスト(円)	4,333	42,750	25,750	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)						
参考	利用者 の 圏域 毎 の 方 向 性								
		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
個別方針	利用用途別分類等の方向性	1資産の見直し	統廃合	代替えサービス	—	—	—	—	
		2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
神原下教職員住宅は詳細調査を実施した上で整備方針(改修範囲)を決定し、順次改善を図っていく。									

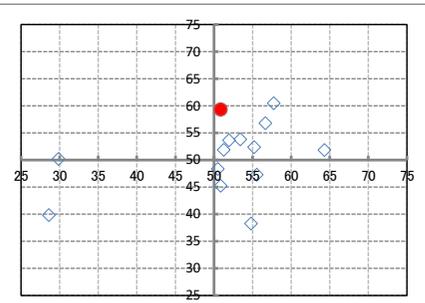
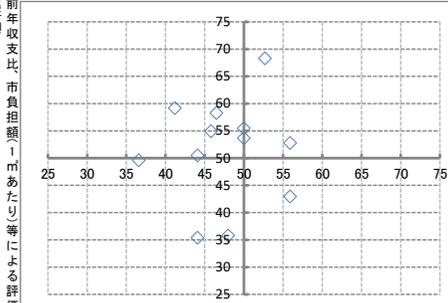
基本情報	リストNo	02-005	施設コード	01471	所管課	本庁	学校教育部教育施設課
	施設名	神原上教職員住宅			施設	天竜区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。					
		主な業務内容	教職員の住居				
		主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		民間賃貸住宅がないため一定の利用者が確保されている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		他に利用できる住宅が少ないため一定の利用者は確保されると予想される				
	特記事項		3棟住宅(現在全て利用)				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2023	—	のべ募集人員	参加者数	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築50年以上経過しているため、施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加が予想される。また、敷地が借地のため解消が必要である。					
	対応策	令和2年度に浜松市教職員住宅配置適正化計画を策定。当施設は廃止の方針とする。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	○	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	○	—	借地の解消を検討していく。			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	3,764	936	2,869	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	66.7	66.7	66.7	1戸当たりのコスト(円)	279,500	69,500	213,000



参考	利用者	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。					
	利用用途別分類等の方向性	教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。					
個別方針	1資産の見直し	統廃合	代替えサービス	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	
現在は入居者がいるため運営は続けるが、退去後入居者不在が続いた場合は施設を解体する。							

基本情報	リストNo	02-007	施設コード	02272	所管課	本庁	学校教育部教育施設課	
	施設名	半場教職員住宅			施設	天竜区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。						
		主な業務内容	教職員の住居					
		主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		民間賃貸住宅がないため一定の利用者が確保されている					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		他に利用できる住宅が少ないため一定の利用者は確保されると予想される					
	特記事項		1棟4戸(現在2戸利用)					
主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	—			2023	—	—	—
		—			2022	—	—	—
		—			2021	—	—	—
	事業②	—			2023	—	—	—
		—			2022	—	—	—
		—			2021	—	—	—
	事業③	—			2023	—	—	—
		—			2022	—	—	—
		—			2021	—	—	—
	事業④	—			2023	—	—	—
		—			2022	—	—	—
		—			2021	—	—	—
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築30年以上経過しているため、施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加が予想される。						
	対応策	令和2年度に浜松市教職員住宅配置適正化計画を策定。当施設は存続の方針とする。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
民生活導入	複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—			

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	1,505	1,691	880	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	200.0	50.0	75.0	1戸当たりのコスト(円)	87,250	196,000	68,000
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
個別方針	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	代替サービス	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
半場教職員住宅は詳細調査を実施した上で整備方針(改修範囲)を決定し、順次改善を図っていく。								

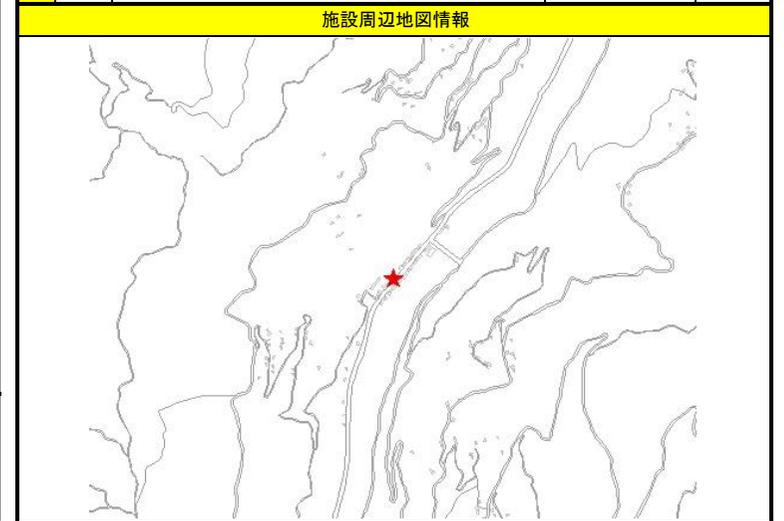
リストNo	02-008	施設コード	02694
利用用途別分類(施設分類)	職員宿舎等		
施設名	龍山明窓寮教職員住宅		
所在(町名・番地)	天竜区龍山町瀬尻930-18		
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育施設課	課長名 山本 治之
	施設	天竜区・区振興課	課長名 森田 修
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。		
主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	443.63	土地面積 609.49
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	3	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1986/4/1	
経過年数(主要建物)	38	代表地目(現況地目)	宅地
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



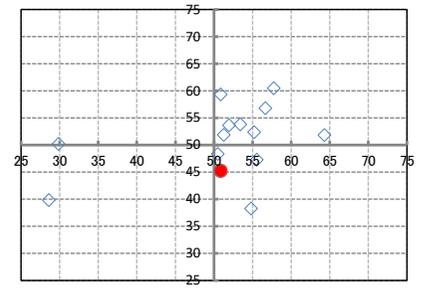
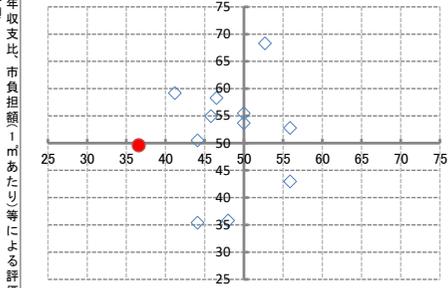
項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	0	19	44
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	19	44
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	188	148	129
	維持補修費(修繕費)	137	20	0
	物件費(光熱水費)	59	75	69
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	384	243	198	
行政コスト(B-A)	384	224	154	
収支前年比	171.43	145.45	67.25	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	1,318	1,318	1,318	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	2	3	3
	全戸数	11	11	11
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1,532	28,269	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
その他の分類	14-130	佐久間第2分団瀬尻車庫	コミュニティ 0.0
	18-061	旧龍山北小学校	地域 0.1
	03-019	龍山森林文化会館	地域 0.2
	04-059	瀬尻不動の滝遊歩道	小規模等 0.7



基本情報	リストNo	02-008	施設コード	02694	所管課	本庁	学校教育部教育施設課
	施設名	龍山明窓寮教職員住宅			施設	天竜区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	金計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。					
		主な業務内容	教職員の住居				
		主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		小中学校の統廃合により利用者が減少し、数年教職員の利用がない				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		教職員の利用はないと思われる				
	特記事項		1棟11戸住宅(現在山いき隊1名利用)				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2023	—	のべ募集人員	参加者数	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築30年以上が経過しているため、施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加が予想される。また、現在教職員の利用者がいないため、今後において教職員住宅として管理することが妥当か検討する必要がある。					
	対応策	令和2年度に浜松市教職員住宅配置適正化計画を策定。当施設は廃止の方針とする。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	○	—	—	今後の利用者の状況により検討する。	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	○	—	—	今後の利用者の状況により検討する。	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	866	505	347	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	18.2	27.3	27.3	1戸当たりのコスト(円)	192,000	74,667	51,333
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類等の方向性	教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	代替サービス	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
現在は入居者がいるため運営は続けるが、退去後入居者不在が続いた場合は施設を解体する。								

リストNo	02-009	施設コード	02783
利用用途別分類(施設分類)	職員宿舎等		
施設名	水窪単身寮教職員住宅		
所在(町名・番地)	天竜区水窪町奥領家3716-3		
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育施設課	課長名 山本 治之
	施設	天竜区・区振興課	課長名 森田 修
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。		
主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	231.86	土地面積 2,838.00
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	2000/2/16	
	経過年数(主要建物)	24	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	259	0	259
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	259	0	259
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	137	110	150
	維持補修費(修繕費)	970	1,079	655
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,107	1,189	805	
行政コスト(B-A)	848	1,189	546	
収支前年比	71.32	217.77	-1516.67	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	1,577	1,577	1,577	

利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	9	8	9
	全戸数	9	9	9
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	

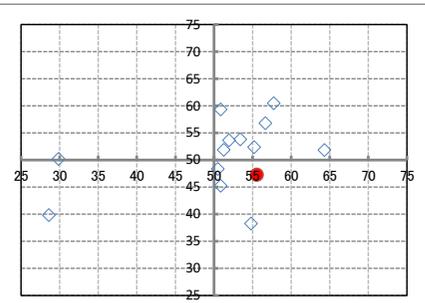
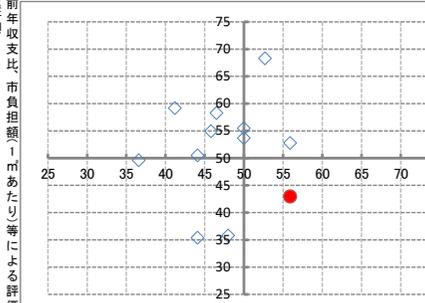
BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	25,303	30,498	—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
02-010	神原市有住宅	地域	1.3
02-005	神原上教職員住宅	地域	1.4
02-004	神原下教職員住宅	地域	1.4
同分類			
その他の分類			
13-070	つつじヶ丘団地	地域	0.1
13-082	大原団地	地域	0.1
14-027	天竜消防署水窪出張所	地域	0.2
05-037	水窪小畑プール管理棟	コミュニティ	0.3
25-042	尾呂第2配水場	—	0.4
14-145	水窪第2分団第2部小畑詰所ほか2施設	コミュニティ	0.5
05-046	水窪グラウンド管理棟	小規模等	0.5
14-146	水窪第2分団第5部電戸詰所	コミュニティ	0.8



基本情報	リストNo	02-009	施設コード	02783	所管課	本庁	学校教育部教育施設課
	施設名	水窪単身寮教職員住宅			施設	天竜区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。					
		主な業務内容	教職員の住居				
		主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		民間賃貸住宅がないため一定の利用者が確保されている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		他に利用できる住宅が少ないため一定の利用者は確保されると予想される				
	特記事項		1棟9戸住宅(現在全て利用)				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	比較的新しい建物ではあるが、今後、施設の老朽化に伴い、維持管理経費の増加が予想される。					
	対応策	令和2年度に浜松市教職員住宅配置適正化計画を策定。当施設は存続の方針とする。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	3,657	5,128	2,355	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	100.0	88.9	100.0	1戸当たりのコスト(円)	94,222	148,625	60,667
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
参考	利用者 の 圏域 毎 の 方 向 性							
		<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>						
個別方針	利用用途別分類等の方向性	1資産の見直し	統廃合	代替えサービス	—	—	—	—
		2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
水窪単身寮教職員住宅は詳細調査を実施した上で整備方針(改修範囲)を決定し、順次改善を図っていく。								

リストNo	02-010	施設コード	01470
利用用途別分類(施設分類)	職員宿舍等		
施設名	神原市有住宅		
所在(町名・番地)	天竜区水窪町奥領家2766-1		
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域	
財産区分	普通財産	普通財産	その他
所管課	本庁	—	課長名 —
	施設	天竜区・区振興課	課長名 森田 修
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	民間賃貸借住宅がほとんど無い水窪地域では、人事異動により同地域に勤務となった者の住居確保が非常に厳しい状況であり、同地域にとっては必要不可欠な住居施設であり、今後も存続していかなければならない。		
主な利用者	同地域勤務者		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	316.76	土地面積 673.81
	構造(主要建物)	木造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1994/3/15	
経過年数(主要建物)	30	代表地目(現況地目)	宅地
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	1棟10戸(令和5年度中に満室となった。)		



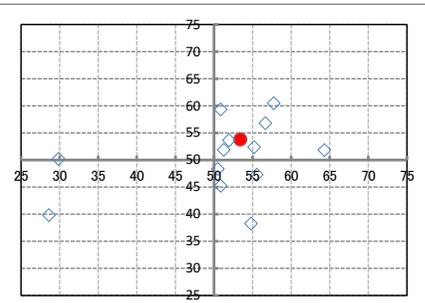
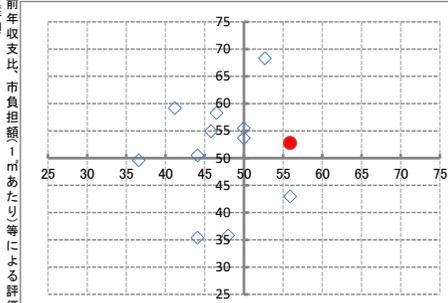
項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	331	294	231
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	331	294	231
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	61	55	103
	維持補修費(修繕費)	296	494	0
	物件費(光熱水費)	26	38	30
	物件費(借地料)	159	159	159
支出計(B)	542	746	292	
行政コスト(B-A)	211	452	61	
収支前年比	46.68	740.98	1.34	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
利用状況	利用コマ数/年	10	9	8
	利用可能コマ数/年	10	9	9
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	10	9	8
	全戸数	10	9	9
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1,061	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	塗装修繕工事	793			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
02-005	神原上教職員住宅	地域	0.1
02-004	神原下教職員住宅	地域	0.1
02-009	水窪単身寮教職員住宅	地域	1.3
25-021	旧簡易水道新道	—	0.2
14-143	水窪第1分団第3部大里詰所ほか3施設	コミュニティ	0.2
15-095	水窪小学校	生活	0.2
10-018	水窪高齢者交流センター	地域	0.3
01-028	水窪支所	地域	0.4
04-055	水窪観光展示休憩所	小規模等	0.5
14-142	水窪第1分団第1部本町詰所	コミュニティ	0.5
03-018	水窪文化会館	地域	0.5



基本情報	リストNo	02-010	施設コード	01470	所管課	本庁	—	
	施設名	神原市有住宅			施設	天竜区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
複合施設								
関連政策名								
職員の健康管理と職場環境の安全管理								
設置の妥当性	設置目的(再掲)							
	民間賃貸住宅がほとんど無い水窪地域では、人事異動により同地域に勤務となった者の住居確保が非常に厳しい状況であり、同地域にとっては必要不可欠な住居施設であり、今後も存続していかねばならない。							
	主な業務内容	賃貸住宅						
	主な利用者	同地域勤務者						
	設置目的の継続性・妥当性							
設置当初に比し社会ニーズが減少していないか								
当地域への勤務職員が居住する施設であり需要は確保されている。				通勤困難の職員等が利用する住宅であり今後も利用が見込まれる。				
中長期(今後10年程度)のニーズ予測								
1棟10戸住宅(現在10戸利用)								
特記事項								
施設運営分析	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
					のべ募集人員	参加者数		
	事業①			2023	—	—	—	
				2022	—	—	—	
				2021	—	—	—	
	事業②			2023	—	—	—	
				2022	—	—	—	
				2021	—	—	—	
	事業③			2023	—	—	—	
				2022	—	—	—	
				2021	—	—	—	
	事業④			2023	—	—	—	
				2022	—	—	—	
		2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	老朽化に伴い修繕が必要な箇所は、外観及び各居室において年々増加している。						
	対応策	施設の劣化状況を見定め、それに応じた修繕等が必要となることから、適正な維持管理コストを心がけ、よりよい運営に取り組む。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生活導入	—							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	666	1,427	193	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	100.0	100.0	88.9	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	100.0	100.0	88.9	1戸当たりのコスト(円)	21,100	50,222	7,625
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	代替サービス	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
老朽化の課題もあることから、利用の実態と教職員の通勤圏域、周辺の民間施設の有無などの状況を見極めつつ、水窪地区の3つの教職員住宅(神原下、神原上、水窪単身寮)及び龍山地区の龍山明窓寮教職員住宅との統廃合を検討する。								

リストNo	02-011	施設コード	00844
利用用途別分類(施設分類)	職員宿舎等		
施設名	佐久間医療職員等住宅(リュミエールさくま)		
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町中部472		
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域	
財産区分	普通財産	普通財産	職員宿舎
所管課	本庁	—	課長名 —
	施設	天竜区・区振興課	課長名 森田 修
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	佐久間地域の医療・福祉関係施設に勤務する職員にとって必要不可欠な施設であるため、今後も適正な維持管理を心掛け、より良い運営に取り組む。		
主な利用者	佐久間病院職員及び社会福祉法人さくまの職員		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	472.57	土地面積 2,183.45
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	3	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	2005/6/20	
	経過年数(主要建物)	18	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



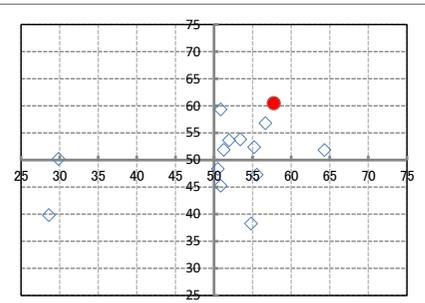
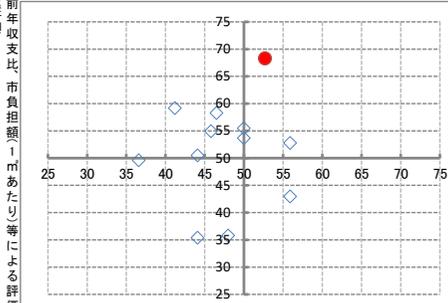
項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	2,162	2,034	1,258
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	2,162	2,034	1,258
	支出(千円)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	154	114	188
	維持補修費(修繕費)	306	262	565
	物件費(光熱水費)	54	65	52
	物件費(借地料)	524	524	524
支出計(B)	1,038	965	1,329	
行政コスト(B-A)	-1,124	-1,069	71	
収支前年比	105.14	-1505.63	16.51	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	2,347	2,347	2,347	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	13	14	7
	全戸数	15	15	15
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	64,434	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
02-002	水巻寮教職員住宅	地域	0.1
02-012	平沢医療職員等住宅	地域	0.1
02-017	平沢医師住宅	地域	0.2
02-016	中部医師住宅	地域	0.2
02-007	半場教職員住宅	地域	0.8
14-135	佐久間第1分団平沢	コミュニティ	0.1
13-087	平沢団地	地域	0.2
15-145	佐久間中学校	生活	0.2
14-136	佐久間第1分団中部	コミュニティ	0.3
22-011	中部歯科診療所	生活	0.3
21-006	佐久間・水窪斎場	地域	0.4
22-003	浜松市国民健康保険佐久間病院	広域	0.4
01-027	佐久間支所	地域	0.4



基本情報	リストNo	02-011	施設コード	00844	所管課	本庁	—
	施設名	佐久間医療職員等住宅(リュミエールさくま)			施設	天竜区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	地域医療に貢献できる有能な医療スタッフの育成					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		佐久間地域の医療・福祉関係施設に勤務する職員にとって必要不可欠な施設であるため、今後も適正な維持管理を心掛け、より良い運営に取り組む。					
		主な業務内容	賃貸住宅				
		主な利用者	佐久間病院職員及び社会福祉法人さくまの職員				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		居住者があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		佐久間地域医療に関わる職員等の利用が見込まれる。				
	特記事項		平成17年新築				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2023	—	のべ募集人員	参加者数	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年劣化等に伴い修繕が必要な箇所は、外観及び各居室において年々増加している。					
	対応策	施設の劣化状況を見定め、それに応じた修繕等が必要となることから、適正な維持管理を心がけ、よりよい運営に取り組む。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	-2,378	-2,262	150	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	86.7	93.3	46.7	1戸当たりのコスト(円)	-86,462	-76,357	10,143
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類等の方向性	教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。						
個別方針	1資産の見直し	代替サービス	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
地域医療や福祉を確保する観点から、住環境の適切な維持管理に努める。								

リストNo	02-012	施設コード	02496
利用用途別分類(施設分類)	職員宿舎等		
施設名	平沢医療職員等住宅		
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町中部434-1		
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域	
財産区分	普通財産	普通財産	職員宿舎
所管課	本庁	—	課長名 —
	施設	天竜区・区振興課	課長名 森田 修
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	佐久間地域の医療・福祉関係機関に勤務する職員にとって必要な施設であるため、今後も適正な維持管理を心掛けより良い運営に取り組む。		
主な利用者	社会福祉法人さくま職員		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	360.36	土地面積 870.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	—	
	耐震工数(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1966/12/13	
経過年数(主要建物)	57	土地情報 うち所有面積 0.00	うち借地面積 870.00
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	515	533	519
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	515	533	519
	支出(千円)	0	0	0
人件費	0	0	0	
物件費(委託料)	28	65	75	
維持補修費(修繕費)	0	304	11	
物件費(光熱水費)	0	0	0	
物件費(借地料)	157	157	165	
支出計(B)	185	526	251	
行政コスト(B-A)	-330	-7	-268	
収支前年比	4714.29	2.61	61.89	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	1,229	1,229	1,229	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	3	3	3
	全戸数	8	8	8
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	30,051	—	

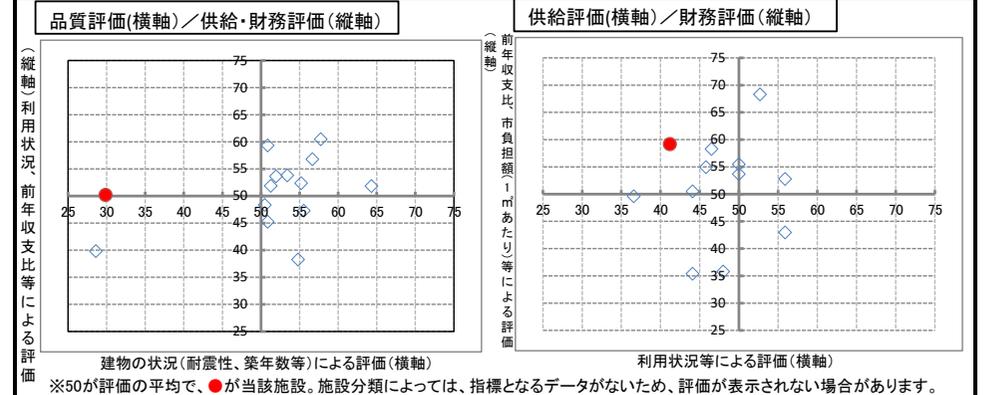
年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
02-011	佐久間医療職員等住宅(リュミエールさくま)	地域	0.1
02-002	水巻寮教職員住宅	地域	0.1
02-017	平沢医師住宅	地域	0.2
02-016	中部医師住宅	地域	0.2
02-007	半場教職員住宅	地域	0.7
14-135	佐久間第1分団平沢	コミュニティ	0.0
13-087	平沢団地	地域	0.0
14-136	佐久間第1分団中部	コミュニティ	0.3
21-006	佐久間・水窪斎場	地域	0.3
22-011	中部歯科診療所	生活	0.3
15-145	佐久間中学校	生活	0.3
22-003	浜松市国民健康保険佐久間病院	広域	0.3
01-027	佐久間支所	地域	0.3



基本情報	リストNo	02-012	施設コード	02496	所管課	本庁	—
	施設名	平沢医療職員等住宅			施設	天竜区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	地域医療に貢献できる有能な医療スタッフの育成					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		佐久間地域の医療・福祉関係機関に勤務する職員にとって必要な施設であるため、今後も適正な維持管理を心掛けより良い運営に取り組む。					
		主な業務内容	賃貸住宅				
		主な利用者	社会福祉法人さくま職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		居住者があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		社会福祉法人さくまに勤務する職員の利用が見込まれる。				
	特記事項		平成14年改修工事				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2023	—	のべ募集人員	参加者数	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	老朽化に伴い修繕が必要である。					
	対応策	施設改修を計画的に実施し、適正な維持管理に努める。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	-916	-19	-744	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	37.5	37.5	37.5	1戸当たりのコスト(円)	-110,000	-2,333	-89,333

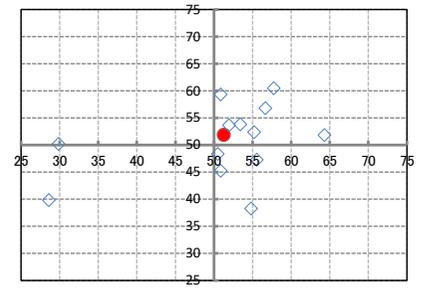
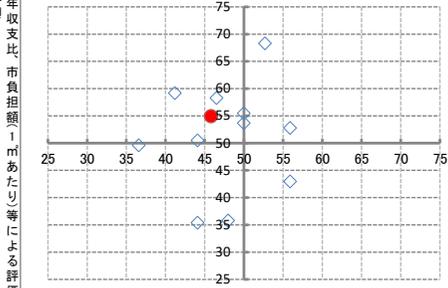


参考	利用者	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。					
	利用用途別分類等の方向性	教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。					
個別方針	1資産の見直し	代替サービス	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
地域医療や福祉の確保の観点から、住環境の適切な維持管理に努める。							

基本情報	リストNo	02-013	施設コード	00019	所管課	本庁	健康福祉部健康医療課	
	施設名	あたご診療所医師住宅			施設	健康福祉部天竜健康づくりセンター		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	地域医療に貢献できる有能な医療スタッフの育成						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		あたご診療所の開設者に対して住環境を提供し、中山間地域における医師の定着を図る。						
		主な業務内容	住宅施設					
		主な利用者	あたご診療所開設者					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			設置当初から継続したニーズが維持されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			地域医療に必要なため、維持継続を要する。				
	特記事項							
	主な事業	事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
					のべ募集人員	参加者数		
			2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2023	—	—	—	—	
		2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建業後20年が経過し(平成15年建設)、今後構造物などに不具合が生じてくると予想される。						
	対応策	住宅の使用にあたり、維持保存等の行為を原則借主側に義務付けているが、大規模な改修がある場合は借主側と協議して適正な保全に努める。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生活導入	—							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	-537	-512	-520	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	-64,000	-61,000	-62,000	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価	<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。							
個別方針	1資産の見直し	代替サービス	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
地域医療確保の観点から、適切な維持管理に努める。									

基本情報	リストNo	02-014	施設コード	00483	所管課	本庁	学校教育部教育施設課
	施設名	気田地区教職員住宅			施設	天竜区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。					
		主な業務内容	教職員の住居				
		主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		民間賃貸住宅がないため一定の利用者が確保されている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		他に利用できる住宅が少ないため一定の利用者は確保されると予想される				
	特記事項		11棟14戸(現在9戸利用)				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2023	—	のべ募集人員	参加者数	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築30年以上経過した建物が多く、施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加が予想される。特に屋根の老朽化が進んでいるため、早急な対応が必要となっている。					
	対応策	令和2年度に浜松市教職員住宅配置適正化計画を策定。当施設は存続の方針とする。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	76	239	2,116	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	57.1	50.0	50.0	1戸当たりのコスト(円)	5,875	21,143	187,429
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
参考	利用者 の 圏域 毎 の 方 向 性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>				
		<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>		<p>教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。</p>				
個別方針	利用用途別分類等の方向性	1資産の見直し	統廃合	代替えサービス	—	—	—	—
		2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
気田地区教職員住宅は詳細調査を実施した上で整備方針(改修範囲)を決定し、順次改善を図っていく。								

基本情報	リストNo	02-015	施設コード	00647	所管課	本庁	学校教育部教育施設課	
	施設名	犬居地区教職員住宅			施設	天竜区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。						
		主な業務内容	教職員の住居					
		主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員					
		設置目的の継続性・妥当性						
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	中学校の統廃合により利用者が減少傾向にある					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	他に利用できる住宅が少ないため一定の利用者は確保されると予想される					
		特記事項	2棟住宅(現在1戸利用)					
主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2023	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
	事業②	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
	事業③	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
	事業④	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築30年以上経過しているため、施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加が予想される。						
	対応策	令和2年度に浜松市教職員住宅配置適正化計画を策定。当施設は廃止の方針とする。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	○	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生活導入	—							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	643	396	416	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	50.0	50.0	50.0	1戸当たりのコスト(円)	65,000	40,000	42,000
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	代替サービス	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
現在は入居者がいるため運営は続けるが、退去後入居者不在が続いた場合は施設を解体する。								

リストNo	02-016	施設コード	20006
利用用途別分類(施設分類)	職員宿舎等		
施設名	中部医師住宅		
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町中部437-9		
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	—
所管課	本庁	健康福祉部佐久間病院	課長名 北野谷 卓治
	施設	健康福祉部佐久間病院	課長名 北野谷 卓治
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	民間賃貸住宅がないため、佐久間病院に勤務する医師の住居確保を図る。		
主な利用者	佐久間病院医師		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	521.23	土地面積 3,134.16
	構造(主要建物)	木造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1999/2/26	
	経過年数(主要建物)	25	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	42	0	0
	維持補修費(修繕費)	167	33	1,116
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	397	397	397
	支出計(B)	606	430	1,513
行政コスト(B-A)	606	430	1,513	
収支前年比	140.93	28.42	174.51	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	3	3	2
	全戸数	5	5	5
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

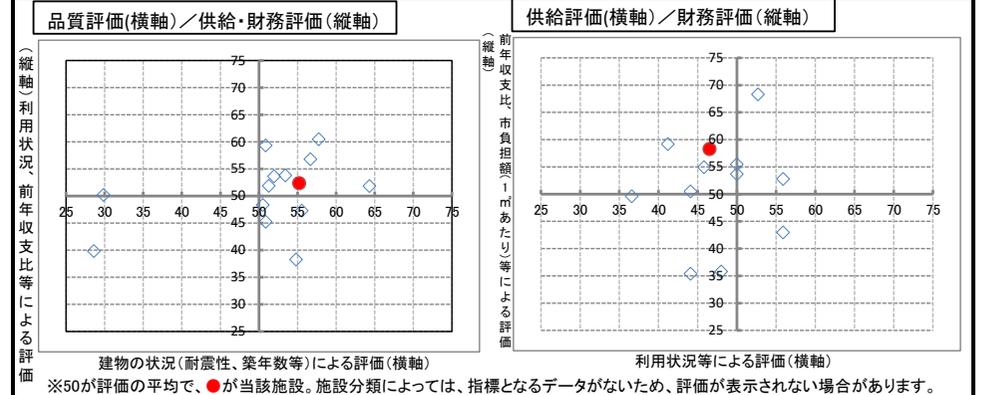
主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
02-002	水巻寮教職員住宅	地域	0.1
02-012	平沢医療職員等住宅	地域	0.2
02-011	佐久間医療職員等住宅(リュミエールさくま)	地域	0.2
02-017	平沢医師住宅	地域	0.4
02-007	半場教職員住宅	地域	0.7
14-136	佐久間第1分団中部	コミュニティ	0.1
22-011	中部歯科診療所	生活	0.1
22-003	浜松市国民健康保険佐久間病院	広域	0.2
14-135	佐久間第1分団平沢	コミュニティ	0.2
01-027	佐久間支所	地域	0.2
13-087	平沢団地	地域	0.2
15-145	佐久間中学校	生活	0.3
21-006	佐久間・水窪斎場	地域	0.4



基本情報	リストNo	02-016	施設コード	20006	所管課	本庁	健康福祉部佐久間病院
	施設名	中部医師住宅			施設	健康福祉部佐久間病院	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	地域医療に貢献できる有能な医療スタッフの育成					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		民間賃貸住宅がないため、佐久間病院に勤務する医師の住居確保を図る。					
		主な業務内容	佐久間病院医師の住居				
		主な利用者	佐久間病院医師				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			民間賃貸住宅がないため一定の利用者は確保されている。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も一定の利用者が確保されると予想される。			
	特記事項			—			
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2023	—	のべ募集人員	参加者数	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業④	—	2023	—	—	—		
		2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から24年が過ぎているが、建物本体には目立った損傷は見受けられないが、今後、維持管理経費の増加が予想される。					
	対応策	必要な施設改修を計画的に実施する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	民生活導入	複合化	—	—	—	—	
		広域化	—	—	—	—	
—		—					

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	1,163	825	2,903	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	60.0	60.0	40.0	1戸当たりのコスト(円)	202,000	143,333	756,500



参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋

利用者の圏域毎の方向性
 地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性
 教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。

個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他
地域医療の維持及び佐久間病院に勤務する医師の住宅確保のため、修繕が必要な場合は計画的かつ適切な維持管理に努める。						

リストNo	02-017	施設コード	20007
利用用途別分類(施設分類)	職員宿舎等		
施設名	平沢医師住宅		
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町中部569-2 他		
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	—
所管課	本庁	健康福祉部佐久間病院	課長名 北野谷 卓治
	施設	健康福祉部佐久間病院	課長名 北野谷 卓治
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	民間賃貸住宅がないため、佐久間病院に勤務する医師の住居確保を図る。		
主な利用者	佐久間病院医師		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	554.33	土地面積 2,696.23
	構造(主要建物)	木造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工数(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1994/3/10	
	経過年数(主要建物)	30	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	134	353	353
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	134	353	353
	支出(千円)	人件費	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	382	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	423	436	397
	支出計(B)	805	436	397
行政コスト(B-A)	671	83	44	
収支前年比	808.43	188.64	53.01	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	2	2	2
	全戸数	4	4	4
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
02-012	平沢医療職員等住宅	地域	0.2
02-011	佐久間医療職員等住宅(リュミエールさくま)	地域	0.2
02-002	水巻寮教職員住宅	地域	0.3
02-016	中部医師住宅	地域	0.4
02-007	半場教職員住宅	地域	0.9
14-135	佐久間第1分団平沢	コミュニティ	0.2
13-087	平沢団地	地域	0.2
21-006	佐久間・水窪斎場	地域	0.3
15-145	佐久間中学校	生活	0.4
14-136	佐久間第1分団中部	コミュニティ	0.4
22-011	中部歯科診療所	生活	0.5
01-027	佐久間支所	地域	0.5
22-003	浜松市国民健康保険佐久間病院	広域	0.5



基本情報	リストNo	02-017	施設コード	20007	所管課	本庁	健康福祉部佐久間病院
	施設名	平沢医師住宅			施設	健康福祉部佐久間病院	
	人員数	正規職員(人)	—	金計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	地域医療に貢献できる有能な医療スタッフの育成					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		民間賃貸住宅がないため、佐久間病院に勤務する医師の住居確保を図る。					
		主な業務内容	佐久間病院医師の住居				
		主な利用者	佐久間病院医師				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		民間賃貸住宅がないため一定の利用者は確保されている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も一定の利用者が確保されると予想される				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2023	—	のべ募集人員	参加者数	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から29年が過ぎているが、建物本体には目立った損傷は見受けられない。今後、維持管理経費の増加が予想される。					
	対応策	必要な施設改修を計画的に実施する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	1,210	150	79	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	50.0	50.0	50.0	1戸当たりのコスト(円)	335,500	41,500	22,000	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)						
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価	<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—		
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
地域医療の維持及び佐久間病院に勤務する医師の住宅確保のため、修繕が必要な場合は計画的かつ適切な維持管理に努める。									